

宮本たかし 県政 NEWS

2013
夏号

Vol.13

宮本 たかし 事務所

〒915-0876 越前市白崎町73-1-3 3F
電話
ファックス **0778-22-6633**



宮本たかしからのご挨拶

暑中御見舞申し上げます。

不安定な天候が続いておりますが、皆様お変わりなくお過ごしでいらっしゃると思いますでしょうか。日頃は私の政治活動に対しまして、ひとかたならぬ御協力を賜り、心より感謝申し上げます。

七月には、武生地区選对本部長として迎えた二度目の国政選挙である参院選において大勝を得ることができ、ほっと胸をなでおろしている所があります。

現在、地元である南地区を皮切りに、重点地区を中心として後援会の再構築の活動を支援者の方々と行っている所ですが、本年度末には全ての地区にて同様の活動を展開したいと考えております。今後共、御指導、御鞭撻を賜ります様、心よりお願い申し上げます。

平成二十五年七月

宮本 俊

<県政メモその8 ～平成25年度6月議会について～>

7月5日、福井県議会6月議会が閉会しました。今議会では補正予算に関わる議案の提出がないという珍しい議会で、予算の伴わない議案16件が原案のまま可決されました。この中には越前市在住の総務部長石塚博英氏の副知事就任への同意という案件も含まれており、少しは越前市の声が県に届きやすくなるのではないかと(実際の所は各市町に対し中立の立場なのでしょうけどね。。。^^;)喜んでいる次第であります。

今議会、予算案がないということで、当初予算がそのまま現在も有効ということになりますので平成25年度当初予算について少しおさらいしておきます。

(単位：百万円)

会 計	25 年度 当初①	24 年度 当初②	増減 (①－②)③	伸び率 (③÷②)
一般会計	477,068	476,882	186	0.0%
特別会計	13,573	13,071	502	3.8%
企業会計	32,398	30,364	2,034	6.7%
計	523,039	520,317	2,722	0.5%

主な予算としては以下の5つの重点施策を中心に振り分けられています。

1. 新幹線時代にふさわしいまちづくり

- 北陸新幹線建設事業：17 億 7300 万円
- 新幹線周辺まちづくり事業：5 億 100 万円 等

いよいよ新幹線の敦賀延伸と県都福井の西口再開発事業が本格化してまいりました。現在の計画では県内延伸は金沢開業から11年遅れ平成37年の予定です。これを少しでも前倒しでなされることが期待されます。

2. 新たな時代に飛躍する産業

- 医療産業創出支援事業などの産業支援：2300 万円
- 県内成長企業生産拠点拡大促進補助金／企業立地促進補助金：16 億 8400 万円
- 企業的園芸参入支援事業：2 億 400 万円 等

高度なものづくり技術の他分野への活用支援の他に、農業の6次化、および原発の停止により疲弊した嶺南経済・中小企業を支援する事業が予算化されています。

3. 地域間競争を勝ち抜く観光・ブランド戦略

- 「恐竜王国ふくい」体験ツアー造成事業：400 万円
- 銀座サテライトショップ新規開業事業：2600 万円
- ふくいフード首都圏販路開拓事業：1300 万円 等

大型広告の掲出や誘客プロモーションの展開により福井の魅力を積極的に発信していく事業が予算化されています。

4. 暮らしやすさを高める環境・医療・福祉

- 豊かな自然環境の保全・活用事業：2800 万円
- 結婚・子育て対策の充実事業：1700 万円
- がん対策強化事業：5500 万円 等

5. 未来を支える人づくり

- 教員の授業力と学力の向上対策の強化事業：7800 万円
- 国体開催に向けたスポーツの振興事業：4 億 7500 万円 等



<参議院選挙に思う>

7月21日、第46回参議院議員総選挙の投票が行われ同日夜にはその結果の大勢が判明いたしました。福井選挙区においては自民党公認で新人の滝波宏文氏が自民党への強い追い風の中、他候補に大差をつけて勝利いたしました。

今回の選挙は参議院におけるねじれ現象を回避し安定的な政権運営を国民が選択した形になったわけですが、投票率の低さなど課題も多く、昨年12月の衆議院選の余勢をかったという状況の中、決して喜んでばかりもいられないというのが私の正直な感想です。

昨年12月、民主党の3年3カ月に渡る「決められない政治・実行しない政治」にノーを突きつける形で自民党が大勝しました。そしてアベノミクスと呼ばれる経済対策を含む半年間の政権運営への評価から今回の参議院選においても自民党が大勝したわけですが、今後の政権運営がうまくできるかどうかは今後の日本にとってかつてないほど大きな影響をもつものになると考えています。3年9カ月前、自民党に鉄槌がくだされ、続く民主党にも厳格な審判がなされました。再度自民党の登場となった今、もし、上手く行かなければ、カラタイマーの鳴ったウルトラマンのスペシウム光線や宇宙戦艦ヤマトの波動砲が成功しなかったごとく、国民は政治に対し最後の望みをたたれる結果になると考えるからです。それはとりも直さず国民の政治への信頼の崩壊が決定的になってしまうことを意味します。

今回の選挙の当選者の方々には、今がそういう状況であることをしっかり認識された上、良識の府の一員としてがんばっていただきたいと切に願う次第です。

以下に今回の選挙のデータについて少し解説いたします。



<投票率>

選挙区における投票率は53.78%と前回2010年の参議院選挙と比べ約11.5ポイント下回り、過去最低だった1995年の53.0%に次ぐ低さとなりました。

従前から自民党候補者が有利であることの報道などから、自民党支持者の中にも「自分がいなくても結果は見えている」「自分がいなくても滝波候補はどうせ当選するんだし」というイメージが蔓延していたことは選挙を戦っていても感じていましたが、投票率のここまでの低さは予想していませんでした。

都市別に見てみますと最低は福井市の49.3%と50%割れ、最高はおおい町の70.9%で、他に70%を超えた市町はありませんでした。都市部は選挙に関する興味が低いとよく言われますが、それにしても福井市のこの数字はお粗末としかいいようがないと思います。越前市も人の事は言えませんが、県内のほぼ平均並みの投票率でしたが、地元候補者が出、激戦となった前回の投票率73.6%を20ポイント以上下回る結果となってしまいました。

ちなみに越前市の投票率データは以下の通り。

総有権者数 65,879人 (男性:31,845人 女性:34,034人)

投票者数 35,237人 (男性:17,422人 女性:17,815人)

投票率 53.49% (男性:54.71% 女性:52.34%)



<結果>

当初から「自民党有利」「滝波リード」の声の中、選対を預かるものとして楽観ムードの払拭と選挙に行って頂くことが最も大きなテーマでした。相手候補の支援組織が強いとはいえ越前市における得票率が県平均に比べ約4ポイント低かったのが非常に残念です。

(数字は得票数)

	 滝波 宏文	藤野 利和	山田 和雄	白川 康之
福井県合計	237,732 70.6%	56,409 16.8%	35,600 10.6%	7,020 2.1%
越前市	22,675 66.8%	6,820 20.1%	3,648 10.7%	802 2.4%

宮本たかしダイアリー

4月28日:たきなみ
宏文武生地区後援
会設立総会議長と
して



5月12日:武生ロー
タリークラブの社
会奉仕事業。安養寺
にて



7月7日:新谷 信二
氏瑞宝双光章受章
祝賀会にて



7月20日:たきなみ
宏文氏と選挙活動。
青果市場さんにて



5月26日:自民党武
生支部主催のセミ
ナー講師、元女優で
参議院議員の三原
じゅん子先生と



5月28日:php主催のセミナー「教育のIT
化について」参加



4月22日:スーパーフェンシングプロジェ
クトで越前市にいらっしやった太田選手と

5月11日:武生高校
平成25年度PTA代
議員総会に監事と
して。萬谷会長を後
ろから…

